

要求仕様書

【新建設業管理システムに係る開発業務】

第1 要求仕様書の目的

現行の福島県建設業管理システムは、農林水産部及び土木部の執行システムや、電子閲覧システム・電子入札システム、外部の財団法人等と連携して、起工から入札情報登録・入札執行・入札結果登録、契約・検査まで、全体として入札関連サービスを提供している。

現行のシステムから新建設業管理システム（以降、「新システム」という）へ更新するため、本要求仕様書において必要な機能の記載及び調達内容を示す。

第2 委託作業の概要

1 委託期間等

契約日から令和10年3月31日まで。

2 委託作業内容

福島県の工事にかかる機能を網羅した新システムの開発を行う。また、新システムの安定稼働に必要とされるソフトウェア、ネットワーク等を適切な状態に保つための運用保守を行う。

第3 システム連携図

別途に示す「システム構成図」を参考とすること。

第4 本システムの調達範囲について

以下の範囲において、調達を実施する。本仕様書に記載のない具体的な業務については、発注者と受託者において、協議のうえ決定すること。

(1) 本システムの設計・開発

「第5 機能概要について」に沿った設計・開発を行うこと。

(2) ソフトウェアの調達

新システムの稼働に必要なソフトウェア等を調達し、適切に設定を行うこと

(3) ハードウェア等機器との互換性

別途に示す「現行建設業管理システムサーバ等機器仕様」の仕様で安定して稼働できるようにすること。

(4) ネットワークの構築

新システム稼働に必要なネットワーク構築を行い、適切に設定を行うこと。

(5) データ移行作業

現行のシステムより抽出されたデータ（文字コードはUTF-8、CSV形式）を新システムへ移行すること。データ移行をするにあたり令和9・10年度の工事等入札参加資格有資格者情報及び令和9年度の案件登録情報を優先的に移行すること。なお、現行システムからのデータ抽出作業は別調達とし、移行データとデータ仕様は発注者から提供する。

(6) システムの運用・保守

新システムの安定稼働に必要とされるソフトウェア、ネットワーク等を適切な状態に保つこと。

(7) システムの使用可能最低期間

本稼働後、最低でも10年間は使用可能とすること。なお、機器やOSのアップデート等及びそれに伴うシステムのバージョンアップについては必要に応じ、別途調達となる。

(8) システムの情報提供

新システムの操作、処理の手順等のマニュアルを作成し、提出すること。

(9) システムの研修

利用者向けの研修会を開催すること。(受講者数約1,000人程度)なお、研修方法については問わない。

第5 機能概要について

下記に機能概要を示す。詳細は「建設業管理システムにおける主要機能一覧」を参考とすること。また、現行システムで使用しているデータを移行し、新システムで整合性を保ちながら運用を行えること。

1 ユーザ管理

ユーザの登録や変更、削除を行えること。一括での編集を可能とすること。

また、ユーザごとにアクセスレベルを設定可能とすること。

想定されるユーザ登録数は約1,300人であり、最低同時入力可能者数は20人以上とすること。

2 業者管理

入札参加有資格業者の登録を行えること。また、年度ごとの業者の台帳を管理できること。(登録時はCSVデータによる取込みも可能とすること。)

3 案件登録

工事等の案件の登録を行え、契約方法や入札方式の選択が可能であること。

4 指名業者

入札に参加する業者を、業者管理から指名できること。

5 総合評価入力

総合評価の点数等の入力が可能なこと。

6 入札結果登録

入札結果を登録できること。

7 連携機能

インターネット環境にある、電子入札システム及び電子閲覧システムと案件の連携が可能なこと。また、LG-WAN環境にある各事業管理システムと連携が可能なこと。詳細は、別途に示す「システム構成図」を参考とすること。

8 企業情報等提供サービスの取込み

一般財団法人建設業技術者センターから提供される企業情報等提供サービスのデータを取り込み、反映できること。

9 建設業許可の取込み

一般財団法人建設業技術者センターから提供される建設業許可情報を取込み、反映できること。

10 帳票出力

各作業で入力した帳票の出力が可能なこと。

11 過去データの管理

過去の入札結果を、抽出できること。

12 操作ログの保存

操作ログを保存し、使用者の作業内容を確認できること。ログの内容は日時、操作ユーザ、操作している項目が含まれていること。

第6 システム運用テスト

- 1 システム稼働までの間に、結合テスト（各システム間の連携、業務間の動作等）を行うこと。
- 2 運用テストを実施し、システムの性能、機能、信頼性、セキュリティ等について、問題ないことを確認すること。
- 3 運用テストは、受託者により事前にテスト計画の作成を行い、発注者から承認を得ること。
- 4 運用テストの結果、問題が生じた場合は稼働までに問題を解決して報告すること。
- 5 運用テスト後は職員がシステムを検証できる環境を整え、職員からの質問・要望に対して迅速かつ誠実に対応すること。

第7 ソフトウェア等の調達

新システムの稼働に必要なとなるソフトウェアについて、調達すること。原則として最新バージョンのものとする。

第8 システムの運用・保守

- 1 運用保守を円滑に遂行するための体制を確立すること。
- 2 システム運用・保守に関する各種ログを取得し、発注者の求めに応じて提出すること。

新建設業管理システムにおける主要機能一覧

| 項番 | 大項目 | 中項目 | 機能 | 機能詳細 |
|----|--------|---------|-------------------------------|--|
| 1 | ファイル管理 | | ファイルの出力が可能であること。 | |
| | | ファイルの出力 | | ファイルに、指定した項目が反映され、指定した作業後に出力されること。 指定対象の項目は「項番5」の中項目を想定。 ファイルの様式例は別紙1「現行建設業管理システム出力帳票集」を参照。上記様式例の他に本仕様に掲載されていない非公表様式(5種類)あり。 |
| | | ファイルの種類 | | 下記ファイルに対応すること。 ・Microsoft Office |
| 2 | ユーザ管理 | | 管理者がユーザ管理を行える機能を有していること。 | |
| | | ユーザ登録 | | ユーザを個別及び一括で登録できること。 |
| | | ユーザ情報 | | 下記、ユーザごとに登録できること。 ・ユーザID ・パスワード ・氏名 ・所属コード ・アクセスレベル |
| | | ユーザ削除 | | ユーザを個別及び一括で削除できること。 |
| | | パスワード変更 | | ユーザのパスワードを個別及び一括で変更できること。 |
| | | 権限設定 | | ユーザごとにアクセスレベルの設定ができること。 |
| 3 | 技術者情報 | | 一般財団法人建設業技術者センターからの情報取込を行うこと。 | |
| | | 技術者情報取込 | | 技術者情報をCSVから取込みし、情報を反映すること。 |
| 4 | ログイン | ログイン | ユーザがログインできる機能を有していること。 | |
| | | ログイン | | ユーザID及びパスワードによりログインできること。 |
| | | ユーザID | | ユーザIDは7桁とする。 |
| | | パスワード | | パスワードは8桁以上とする。 |
| | | ログインエラー | | ユーザID及びパスワードが異なる場合、ログインエラーを表示すること。 |
| | | パスワード変更 | | ログイン後、パスワードを変更できること。 |
| | | ログアウト | | システムよりログアウトできること。 |
| 5 | 入札関連業務 | 工事案件登録 | 工事案件登録が行えること。 | |
| | | 工事案件情報 | | 工事案件情報を登録できること。 以下、入力項目参考例。 ・工事名 (テキスト入力) ・路河川名 (テキスト入力) ・工事箇所 (テキスト入力) ・橋・地区名 (テキスト入力) ・施工方法 (プルダウン) ・発注種別 (プルダウン) ・許可業種 (プルダウン) ・工期 (プルダウン及びテキスト入力) ・工事概要 (テキスト入力) |
| | | 工事番号 | | 工事番号が自動及び連番で付与されること。 ※2桁(西暦の下2桁)-5桁(所属コード)-4桁(連番) |
| | | 施工方法 | | 下記、選択可能であること。 ・請負 ・委託 |
| | | 発注種別 | | 発注種別が選択可能であること。別紙2を参照。 |
| | | 許可業種 | | 許可業種が選択可能であること。 |
| | | 工期 | | 下記、選択可能であること。 ・工事日数 ・完成予定期限 |
| | | 連携機能 | | 各事業管理システムとCSV形式により随時、工事案件情報を連携すること。 |
| | | | | |

| | |
|---------|--|
| 指名内申 | 入札にかかる方式や地域要件等を入力できること。 |
| | <p>指名内申にかかるデータを入力できること。 以下入力項目参考例。</p> <p>下記項目を入力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子入札区分 ・電子閲覧区分 ・契約方法 ・入札方式 ・委員会区分 ・地域要件 ・総合評価方式 ・総合評価の種類 ・発注種別 ・許可業種 ・格付等級 ・その他条件 ・指名選考 |
| 電子入札区分 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 ・非対象 |
| 電子閲覧区分 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 ・非対象 |
| 契約方法 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札 ・指名競争 ・随意契約 |
| 入札方式 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名競争 ・随意契約 ・条件付一般競争入札(価格競争) ・WTO一般競争入札(価格競争) ・条件付一般競争入札(総合評価) ・WTO一般競争入札(総合評価) |
| 委員会区分 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁 ・特例 ・公所 ・その他 |
| 地域要件 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国 ・県内 ・隣接3管内 ・管内 ・その他 |
| 総合評価方式 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査制度 ・施工体制事前提出方式 <p>※入札方式が、「条件付一般競争入札(総合評価)」または、「WTO一般競争入札(総合評価)」の場合に選択可能とする。</p> |
| 総合評価の累計 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準型 ・簡易型 ・特別簡易型 ・復興型 ・復旧型 ・地域密着型 <p>※入札方式が、「条件付一般競争入札(総合評価)」または、「WTO一般競争入札(総合評価)」の場合に選択可能とする。</p> |
| その他条件 | <p>下記、選択可能であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無し ・有り |
| 業者選定 | <p>指名競争の場合、指名する業者を下記より選定できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有資格者コードから、業者を追加する |
| 指名業者選定 | <p>契約方法が下記の場合、指名する業者を選定できること。</p> <p>選定条件については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名競争 ・随意契約 |
| ファイル出力 | <p>指名内申画面で入力した項目がエクセルファイルで出力されること。</p> |

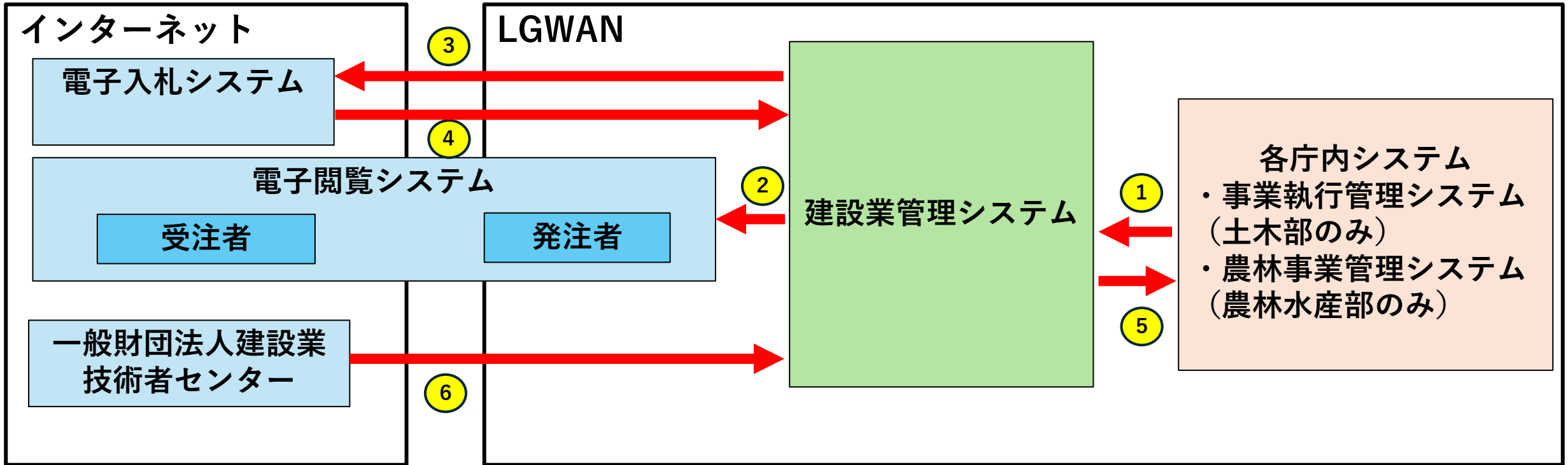
| | | | | |
|----------|---|---|--|---|
| | | 指名決定 | 指名競争において、指名決定を行えること。 | |
| | | | 一覧表示 | 指名決定前の指名競争一覧が表示できること。 |
| | | | 指名決定 | 指名決定日を入力できること。 |
| | | 入札予定 | 入札予定を入力できること。 | |
| | | | 案件選択 | 入札予定を入力する案件を選択できること。 |
| | | | 入力 | 下記入力できること。 ・入札日 ・入札時間 ・入札場所 ・閲覧期間 ・閲覧場所 |
| | | 電子入札承認 | 電子入札の承認を行えること。 | |
| | | | 案件選択 | 電子入札承認を行う対象案件を選択できること。 |
| | | | 連携機能 | 電子入札承認後、電子入札システムへ連携を行うこと。 CSV形式により工事等電子入札対象案件情報を随時、連携すること。 |
| | | 総合評価項目入力 | 総合評価項目の入力が行えること。 | |
| 電子入札連携 | 電子入札システムからCSV形式により電子入札参加業者データを随時、連携すること。 電子入札システムからCSV形式により総合評価案件情報を1日1回、連携すること。 | | | |
| 総合評価項目入力 | 参加者の総合評価項目の点数の入力を行えること。 | | | |
| CSV出力 | 入力した項目を、CSVにより出力すること。 | | | |
| 入札(見積)結果 | 入札(見積)結果の入力を行えること。 | | | |
| | 電子入札連携 | 電子入札システムからCSV形式により入札結果情報を随時、連携すること。 | | |
| | 事業管理システム連携 | 各事業管理システムへCSV形式により入札結果情報を30分に1回程度、連携すること。 | | |
| | 入札(見積)結果 | 参加者の入札(見積)結果の入力を行えること。 | | |
| 6 資格者変更 | 資格者変更 | 既に登録されている資格者情報の変更が行えること。 | | |
| | | 案件検索画面 | 登録項目入力対象案件を検索できること。 以下検索項目参考例。 ・資格管理年度(空欄状態は不可。デフォルトは現在操作している年度) ・業者番号(9桁) ・許可番号 ※2桁-6桁で入力 ・法人番号 ※13桁 ・商号又は名称(カナ) ・商号又は名称(漢字) ・住所(漢字) ・代表者氏名(漢字) ・代表者氏名(漢字) ・本社所在地コード(プルダウン)※8方部+県外 計9項目 | |
| | | 変更入力画面 | 有資格者の登録されている項目について、変更入力可能とすること。 以下参考例。 ※●は表示のみとし、変更入力不可とする。 ・資格管理年度 ● ・業者番号 ● ・事実発生日 ・許可番号(変更前)● ・許可番号(変更後) ・商号又は名称● ・法人番号(13桁) ・商号又は名称(フリガナ) ・商号又は名称 ・代表者役職名 ・代表者氏名(フリガナ) ・代表者氏名(漢字) ・郵便番号(入力後、「住所入力ボタン」により以下住所自動入力) | |

| | | | | |
|---|-------|-----------------------|--|--|
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県(2桁のコードを入力し表示させる) ・市区町村名(3桁のコードを入力し表示させる) ・所在地コード(プルダウン) ※8方部+県外 計9項目 ・住所1(大字まで) ・住所2(番地まで) ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・FAX番号 ・許可業種(29業種)※1 特定の場合「2」、一般の場合「1」を入力 ※2 工事の場合のみ ・発注種別(18種別)※1 申請済みの場合「2」、廃業の場合「X」を入力 ※2 工事の場合のみ ・発注種別(5種別)※測量等の場合のみ ・登録を受けている部門 ※測量等の場合のみ ・備考 <p>委任先情報 変更入力画面(本社情報)と同画面内に配置する。受任者の有無(ラジオボタン)を有とした場合、以下項目を入力できるようにする。※既に登録されている場合は変更入力可能とし「追加ボタン」で、委任先を追加できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受任営業所(フリガナ) ・受任営業所(漢字) ・受任者役職名 ・受任者氏名(フリガナ) ・受任者氏名(漢字) ・郵便番号(入力後、「住所入力ボタン」により以下住所自動入力) <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県(2桁のコードを入力し表示させる) ・市区町村名(3桁のコードを入力し表示させる) ・所在地コード(プルダウン) ※8方部+県外 計9項目 ・住所1(大字まで) ・住所2(番地まで) ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・FAX番号 ・許可業種(29業種)※1 特定の場合「2」、一般の場合「1」を入力 ※2 工事の場合のみ ・発注種別(18種別)※1 申請済みの場合「2」、廃業の場合「X」を入力 ※2 工事の場合のみ ・発注種別(5種別)※測量等の場合のみ ・受任する地域 ※県内8方部 |
| 7 | 資格者入力 | 有資格者情報の登録・修正・削除が行えること | <p>建設工事・個別入力</p> <p>基本項目入力 下記項目について、入力可能とすること。※●は表示のみとし、入力不可とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格管理年度・受付時期● ・処理区分(登録・修正・削除) ・新規/更新 ・受付番号(XXXXX-1-XXXX) ・受付建設事務所(受付番号入力により自動入力) ・業者番号(新規の場合は入力不可) | <p>工事等資格者情報の登録・修正・削除が行えること。 以下参考例。</p> <p>※上段については、「基本項目入力」で入力された情報を表示されている状態とする。(変更入力不可。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人番号 ・商号又は名称(フリガナ) ・商号又は名称(漢字) ・代表者役職名 ・代表者氏名(フリガナ) ・代表者氏名(漢字) ・郵便番号(入力後、「住所入力ボタン」により以下住所自動入力) <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県(2桁のコードを入力し表示させる) ・市区町村名(3桁のコードを入力し表示させる) ・所在地コード(プルダウン) ※8方部+県外 計9項目 ・住所1(大字まで) ・住所2(番地まで) ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・FAX番号 ・許可業種(29業種)※特定の場合「2」、一般の場合「1」を入力 ・発注種別(18種別)※申請済みの場合「2」、廃業の場合「X」を入力 ・自己資本額及び職員数の評点(X2)※4桁までの数字 ・その他の項目の評点(W)※4桁までの数字 ・備考 ・経営状況の評点(Y) ※4桁までの数字 |

| | | | |
|-------------------|---|---|--|
| | <p>委任先の登録 本店に対する委任先が登録できるようにすること。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・受任者の有無(ラジオボタン) ※「有」とした場合、以下項目を入力できるようにする。 ・受任営業所(フリガナ) ・受任営業所(漢字) ・受任者役職名 ・受任者氏名(フリガナ) ・受任者氏名(漢字) ・郵便番号(入力後、「住所入力ボタン」により以下住所自動入力) ・都道府県(2桁のコードを入力し表示させる) ・市区町村名(3桁のコードを入力し表示させる) ・所在地コード(ブルダウン) ※8方部+県外 計9項目 <ul style="list-style-type: none"> ・住所1(大字まで) ・住所2(番地まで) ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・FAX番号 ・許可業種(29業種)※特定の場合「2」、一般の場合「1」を入力 ・発注種別(18種別)※今回申請の場合「1」、申請済みの場合「2」、廃業の場合「X」を入力 ・受任する地域(県内8方部より選択) ・平均完成工事高等と技術職員数 | |
| <p>測量等資格者個別入力</p> | <p>基本項目入力 下記項目について、入力可能とすること。※●は表示のみとし、入力不可とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格管理年度・受付時期● ・処理区分(登録・修正・削除) ・新規/更新 ・受付番号(XXXXX-3-XXXX) ・受付建設事務所(受付番号入力により自動入力) ・業者番号(新規の場合は入力不可) | <p>測量等資格者の登録する項目について、入力可能とすること。以下、参考例。</p> <p>※上段については、「基本項目入力」で入力された情報を表示されている状態とする。(変更入力不可。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人番号 ・商号又は名称(フリガナ) ・商号又は名称(漢字) ・代表者役職名 ・代表者氏名(フリガナ) ・代表者氏名(漢字) ・郵便番号(入力後、「住所入力ボタン」により以下住所自動入力) ・都道府県(2桁のコードを入力し表示させる) ・市区町村名(3桁のコードを入力し表示させる) ・所在地コード(ブルダウン) ※8方部+県外 計9項目 ・住所1(大字まで) ・住所2(番地まで) ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・FAX番号 ・発注種別(5種別)※今回申請の場合「1」、申請済みの場合「2」、廃業の場合「X」を入力 ・営業年数 ・資本金(千円) ・常勤職員数 ・技術者数 ・管理照査技術者数 | |
| | <p>委任先の登録 本店に対する委任先が登録できるようにすること。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・受任者の有無(ラジオボタン) ※「有」とした場合、以下項目を入力できるようにする。 ・受任営業所(フリガナ) ・受任営業所(漢字) ・受任者役職名 ・受任者氏名(フリガナ) ・受任者氏名(漢字) ・郵便番号(入力後、「住所入力ボタン」により以下住所自動入力) <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県(2桁のコードを入力し表示させる) ・市区町村名(3桁のコードを入力し表示させる) ・所在地コード(ブルダウン) ※8方部+県外 計9項目 ・住所1(大字まで) ・住所2(番地まで) ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・FAX番号 ・受任発注種別(5種別) ・受任する地域(県内8方部より選択) ・取扱高 ・登録を受けている部門 | |

| | | | | |
|----|---------------------------------|--|--|---|
| | | <p>特定JV資格者入力 ※特定JV企業について登録、修正、削除が行えること。</p> | <p>基本項目入力 下記項目について、入力可能とすること。※●は表示のみとし、入力不可とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理区分(登録・修正・削除) ・受付番号(XXXXX-7-XXXX) ・受付建設事務所(受付番号入力により自動入力) ・業者番号(XXXXXX) | <p>詳細項目入力。 特定JV資格者の登録項目について、入力可能とすること。 以下参考例。</p> <p>※上段については、「基本項目入力」で入力された情報を表示されている状態とする。(変更入力不可。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成業者 建設業の許可番号(XX-XXXXXX)を入力することにより、次の項目を表示させる。なお、代表企業と構成企業(最大5社)分入力できるようにすること。(商号又は名称・代表者・本店住所・資格の有無) ・企業体名称(フリガナ) ・企業体名称 ・代表者役職名 ・代表者氏名(フリガナ) ・代表者氏名 ・郵便番号(入力後、「住所入力ボタン」により以下住所自動入力) ・都道府県(2桁のコードを入力し表示させる) ・市区町村名(3桁のコードを入力し表示させる) ・所在地コード(プルダウン) ※8方部+県外 計9項目 ・住所1(大字まで) ・住所2(番地まで) ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・住所3(マンション名等) ・電話番号 ・FAX番号 ・受任発注種別(18種別)※申請済みの場合「2」、廃業の場合「X」を入力 ・備考 |
| 8 | 資格者格付 ※工事有資格者業者について、格付を入力する。 | <p>基本情報入力画面 ※1 年度選択(例:R5・6、R7・8等)</p> <p>※2 受付時期の選択(基本・追加・随時等)</p> | <p>○資格者入力で登録された有資格者について、別紙3「評定の方法について」に沿って、格付処理を行えるようにする。※建設工事の有資格者のみ。</p> | |
| 9 | 指名停止 ※有資格業者について、指名停止の入力を行う。 | 指名停止入力 | <p>基本情報入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度 ・処理区分(登録・修正・削除) ・資格停止案件番号 | <p>指名停止業者の登録ができること。 以下参考例。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・措置項目要件(プルダウン) ※25項目程度想定 ・措置理由 ・備考 ・指名停止決定日 ・指名停止業者(有資格者コードから、業者を追加する) ・指名停止期間 |
| | | 指名停止照会 | <p>検索情報入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照会期間(停止期間に該当する業者) ・照会業者(下6桁の業者番号) | <p>指名停止業者の登録状況について、照会できること。 以下、参考検索項目。</p> <p>表示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者名 ・住所 ・指名停止決定日 ・指名停止期間 ・指名停止理由 |
| 10 | 帳票印刷 | 帳票印刷 | 各項目で作成された帳票を印刷可能とすること。 | |
| 11 | 操作ログ | | 操作ログ機能 | 利用者の操作ログが確認できること。 |
| 12 | 電子入札登録業者(ICカード)情報 | | 電子入札システムから電子入札登録業者(ICカード)のデータを連携する機能 | 電子入札システムからCSV形式により電子入札登録業者(ICカード)情報を1日1回、連携すること。 |
| 13 | 契約結果情報 | | 契約結果情報を確認できること。 | 入力が完了した過去の契約結果情報について確認できること。 |

システム構成図



建設業管理システムと各システム間の連携概要

- ①各事業管理システムからの連携 (CSVファイル) : 案件データ (随時)、契約結果データ (30分/1回程度)
- ②電子閲覧システムが建設業管理システムDBからデータ取得 : 公告にかかるデータ (随時)
- ③電子入札システムへ連携 (CSVファイル) : 工事等有資格業者名簿データ (1日/1回)、工事等電子入札対象案件データ (随時)
- ④電子入札システムからの連携 (CSVファイル) : 電子入札登録業者 (ICカード) データ (1日/1回)、電子入札参加業者データ (随時)、入札結果データ (随時)、総合評価案件データ (1日/1回)
- ⑤各事業管理システムへ連携 (CSVファイル) : 入札結果データ (30分/1回程度)
- ⑥一般財団法人建設業技術者センターからの連携 : 企業情報等提供サービスのデータ (手動)

現行建設業管理システムサーバ等 機器仕様

建設業管理システムサーバ機器

| | 品名コード | 品名 | 数量 | 備考 |
|----------------------|-----------------|---|----|---|
| 5) 仮想化統合サーバ用ストレージ 1台 | | | | |
| | NF5323-SR01 | iStorage M120ディスクアレイ (2.5型) | 1 | M120 2.5型SASディスク24HDD搭載可能モデル, Dual Controller(ホストポートレス)×1, HDDレス, AC電源(100V/200V)× 2, AC100V電源ケーブル(3m)×2, 標準添付ソフトウェア ・ iSM Express ・ ThinPro ・ StoragePathSavior ・ AccessControl ・ ControlCommand ・ StoragePowerConserver ・ DDR Express ・ Data Migration |
| | NF5323-SFM4 | Host Port Mezzanine Card(16Gb FC 4Port) | 2 | Host Port Mezzanine Card x1, SFPモジュールレス (空き x 4) , M120 用 |
| | NF5323-SFP16 | SFPモジュール(16Gb FC) | 4 | SFPモジュール 16Gb FC x2, M120用 |
| | NF5323-SC01 | 標準キャッシュモジュール(32GB) | 2 | 標準キャッシュモジュール(32GB), 16GB DIMM x2 M120用 |
| | NF5323-SMA78 | SASディスクドライブ(2.5型 15krpm/600GB) | 22 | 2.5型 SAS/15Krpm/600GBx1, M120用 |
| | NF5323-SSA96 | SAS SSDドライブ (2.5型 400GB) | 2 | 2.5型 SAS SSD/400GBx1, M120用 |
| | NF9100-SF32DAC | フロントベゼル(2U DAC) | 1 | フロントベゼル1式 (NEC/iStorageロゴ) , M12e/M120/M320 本体用 |
| | NF9350-SJ005 | Fibre Channelケーブル(OM3/皮膜強化) | 3 | 8/16/32Gbps FCケーブル(10G/25G iSCSI使用可)(5m)×2本,皮膜強化 |
| 仮想化統合サーバ用ストレージソフト | | | | |
| 保守 | UFSVM00H1200-R | | 1 | M120添付ソフトウェアのPP・サポートサービス契約用(SWAS) ・ ストレージ制御ソフト(iStorageManager Express,StorageOS,FW含) ・ iStorage StoragePathSavior ・ iStorage AccessControl ・ iStorage StoragePowerConserver ・ iStorage DynamicDataReplication Express ・ iStorage ThinProvisioning ・ iStorage DataMigration ・ iStorage ControlCommand ※Webより入手可能な下記製品のサポートも含む ・ WebSAM Storage VMware Web Client Plug-in ・ WebSAM Storage VASA Provider ・ NEC Storage Replication Adapter |
| | UFSM02N120R0-R | WebSAM iStorageManager Suite Ver12.3 - M120 | 1 | ストレージシステム全体の統合運用機能 ・ WebSAM iStorageManager ・ WebSAM iStorageManager Integration Base ・ WebSAM Storage PerforMate(VolumeProtect/Virtual Volume含む) ・ WebSAM Storage PerforNavi 対象装置 : iStorage M120 |
| | UFSM55N12010-R | iStorage PerforCache - M120 | 1 | SSD2次キャッシュ機能 対象装置 : iStorage M120 |
| | V302-000347-001 | iStorageM120 SG仕様書作成代行キット | 1 | SG仕様書(現地調整設定指示書)作成代行(1台) |

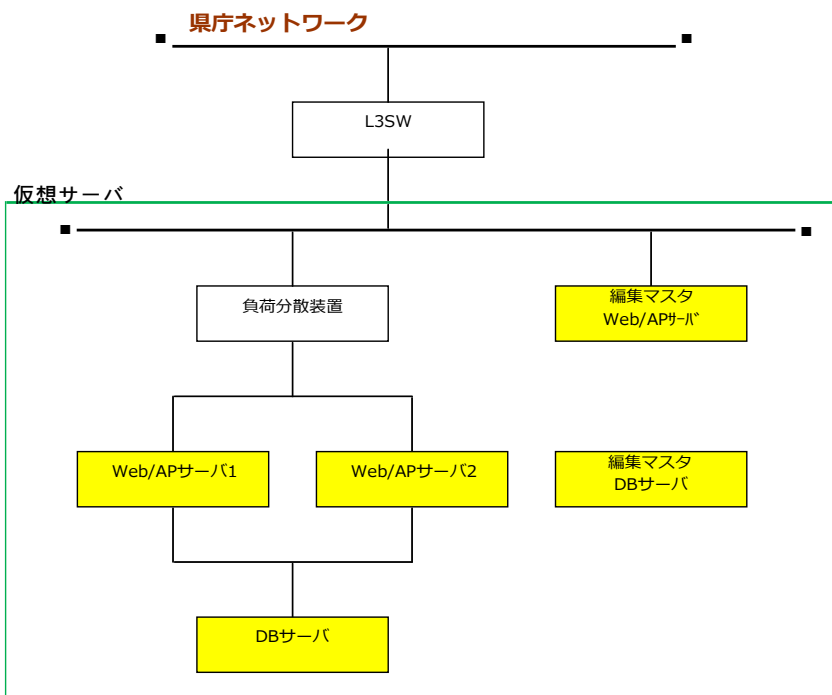
現行建設業管理システム仮想サーバ仕様書

1 現行仮想サーバ概要

建設業管理システムは、仮想サーバを福島県土木部が所管する共用サーバ上に構築し、運用している。共用サーバは物理サーバ3台にて構成され、ライブマイグレーション等により高い耐障害性を備えている。

2 仮想サーバ論理構成図

システムにおける仮想サーバの構成は、以下のとおりである。



※編集マスタシステムは、現行の建設業管理システムで入力した情報をCSV形式でデータ出力するシステムであるが、上記仕様は今回調達予定の新建設業管理システム内に含まれているため、今回の調達に含めない。

3 仮想サーバ仕様

(1) システム仮想サーバ

- 仮想サーバは、DBサーバ、編集マスタ DBサーバ、Web/APサーバ1、Web/APサーバ2、編集マスタ Web/APサーバの5サーバとなる。

(2) 仮想化統合サーバリソース割り当て

| 仮想化統合サーバ | | | リソース割り当て状況 | | | | | | | |
|----------|-----------------|-------------------|-------------------|-----|----|------|----|-----------|-------|-----|
| サーバ名 | CPUコア数 (最大数) | メモリ (GB) (最大数) | 名称 | CPU | | メモリ | | ディスク (GB) | | |
| | | | | コア数 | 合計 | (GB) | 合計 | Cドライブ | Dドライブ | 合計 |
| 実稼働機系 | 24 | 128 | ベアレントOS | 1 | 13 | 8 | 80 | | | 0 |
| | | | 建設業DBサーバ | 2 | | 8 | | 60 | 250 | 310 |
| | | | 建設業Web/APサーバ1 | 2 | | 8 | | 60 | 40 | 100 |
| | | | 建設業Web/APサーバ2 | 2 | | 8 | | 60 | 40 | 100 |
| | | | 建設業編集マスタDBサーバ | 1 | | 8 | | 60 | 160 | 220 |
| | | | 建設業編集マスタWeb/APサーバ | 1 | | 8 | | 60 | 40 | 100 |
| | | | 他システムサーバ① | 2 | | 16 | | 300 | - | 300 |
| | | | 他システムサーバ② | 2 | | 16 | | 600 | - | 600 |